

資料館の資料を活用した実習と施設のあり方について共同研究を進めてまいります。

地域づくりの拠点となる公民館活動では、公民館運営審議会委員の地域分担制及び地域活性化事業の推進が成果を上げ活動が活発になっていることから、引き続き地域が主体となって地域課題の解決に取り組む体制づくりを支援してまいります。

施設改修では、老朽化に伴う修繕を計画的に進めてまいります。また、勝山公民館の外構工事として、屋外遊具の整備などを進めてまいります。

社 会 体 育

各種スポーツ教室などを開催し、競技力の向上及び競技練習環境の確保に努めるとともに、町民の希望を取り入れた新しい種目の教室を開催するなど、町民の皆さんがスポーツに親しむ機会を提供いたします。

子どもの体力低下が課題となっていることから、わんぱくクラブや少年少女スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援など、子どもの体力と運動機能の向上を図ってまいります。

高齢者などの健康保持並びに健康志向の高まりに応え、軽スポーツや健康体操教室を引き続き開催いたします。

施設関係では、町営野球場のダグアウトと内外野フェンスの改修、置戸水泳プールの鉄骨部の再塗装、町営テニスコート周囲の環境整備、ファミリースポーツセンターの耐震工事の実施設計などを行います。

森 林 工 芸 館

昨年、誕生から30周年を迎えたオケクラフトは、各種記念事業を通じて町民の皆さんと一緒に節目の年を祝うことができました。「すくすくギフト」事業は、お子さんの誕生を祝う事業として今後も継続してまいります。

作り手養成では、1名が3月で作り手養成塾を卒業し、共同工房での本格的な生産活動を始めますが、今後も、デザイン指導などの側面的な支援を続けてまいります。なお、昨年から休止している研修制度については、早急に再開できるよう体制や内容など



オケクラフトの食器セット「すくすくギフト」の検討を行います。

施設関係では、正面玄関床部分の全面改修を実施し、来館者の安全確保と施設的美観を図ります。

どま工房では、秋岡陽氏を名誉館長に迎え、秋岡コレクションを核とした手仕事文化の情報発信に努めます。また、研究員の資料調査研究、資料解説作業などの環境整備を図るため、どま工房のパソコン購入、インターネット環境を整備いたします。

生涯学習情報センター

本年度は、第3期生涯学習情報センター運営3ヶ年計画の中間年であり、計画の着実な推進を図るとともに、地域図書館機能をより高め、町民に愛される「本のあるみんなの広場」としての情報センターづくりを進めてまいります。

「古老の声」や「置戸の歴史を語る」収録など、多くの資料が残されてきましたが、本年は収録資料の活字起こしに加え、編集作業を進めてまいります。

管理面においては、現在12万冊を超える書籍などの資料管理や貸出、検索を行っている「図書館システム」について、更新を図ってまいります。

学 校 給 食

思童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけられるよう、栄養教諭を中心に食に関する情報を発信し、家庭と連携した指導に取り組めます。また、給食施設・設備の適切な衛生管理と古い調理機器の更新を図り、安全で安心な給食の提供に努めるとともに、地元食材を積極的に取り入れ、季節、行事などに配慮しながら、地域の特色を活かした学校給食の提供に努めます。